

会議ダイジェスト

境界領域委員会

平成5年度第2回自動車用材料分科会

開催日：7月1日

1. 講演「大型トラック・バスの現状と将来」
2. 上記講演に対する質疑応答
3. 自動車用材料シンポジウムに関する打合せ

編集委員会

第5回和文会誌分科会

開催日：7月2日

1. 「鉄と鋼」第79年第10号、第11号掲載記事決定
2. 依頼記事の決定

第5回欧文会誌分科会

開催日：7月15日

1. 講演大会発表講演の執筆勧誘基準
2. Review記事執筆依頼案及び特集号企画案の検討

第3回講演大会分科会

開催日：7月19日

第126回秋季講演大会プログラム編成会議

育成委員会

第1回学生見学会実行分科会

開催日：7月9日

1. 第9回見学会実行計画の検討
2. 交通費補助の見直しと学生会員特典制度

第2回技術講座小委員会

開催日：7月12日

1. 第153・154回西山記念技術講座「鋼のスラブ連続鍛造技術の最近の動向」の講師の人選
2. 西山・白石講座の新企テーマの検討

第14回企画小委員会

開催日：7月20日

各委員より提案のあった9件の新企画案の説明と内容検討

共同研究会

第68回品質管理部会

開催日：7月1、2日

技術サービスの品質改善・商品企画との関わりのある方についてをテーマに各社からの報告

を論文とアンケートの両方にて行った

物流部会第7回輸出調査小委員会

開催日：7月15、16日

作業方法・要員、作業方法・能率及び船積作業決定の3項目についての調査結果の分析(グループ別)実施

圧延理論部会第5回理論解析研究小委員会

開催日：7月22日

大学および企業で行なわれている板圧延に関するFEM解析について、3D解析を中心に差異とその発生原因について討議した

鋼管部会HLP専門委員会H5年第4回腐食WG

開催日：7月23日

今回すべてのData揃い、報告書目次及び執筆分担の調整・確認も終了した。次回1～2回進捗報告会を実施予定

基礎研究会

第15回組織制御と性質研究部会

開催日：7月2日

最終報告書のまとめ(原稿進捗状況、本としての体裁)協議終了及び次期部会(継続のための仮題とその準備会について)の討議

第4回耐火物の組織評価研究部会

開催日：7月2、3日

耐火物組織評価の現状と今後の課題

鉄鋼業における炭酸ガス抑制対策研究部会シンポジウム

開催日：7月12日

4つのワーキンググループより、ワーキンググループ活動報告があった(発表件数：計17件)

第4回ネットネストシティ研究部会

開催日：7月13日

ネットネストシティ設計のための検討フレーム

第7回圧延ロール研究部会

開催日：7月19日

熱延・冷延ロールのアンケート報告、熱延ロールに関する文献調査報告、圧延ロールに関する話題提供3件、特別講演1件がなされた

特基研究会

第2回スクラップ起因不純物元素の鋼材への影響部会

開催日：7月26日

1. 研究報告：3件
2. 今後の研究テーマ

日本圧力容器研究会議

第73回圧力容器用鋼材専門委員会

開催日：7月16日

1. 講演「動的歪時効におよぼす微量合金元素の影響」
2. 共同研究進捗状況報告

水素脆化専門委員会第31回TG6

開催日：7月23日

共同研究進捗状況確認

水素脆化専門委員会第16回TG7

開催日：7月23日

1. 焼戻脆化と水素脆化の重畳作用
2. 共同研究発表：5件

鉄鋼標準化センター運営委員会

第5回鉄鋼標準化センター運営委員会

開催日：7月22日

ISO/TC17/EC会議報告、同TC/67総会日本開催の国内調整等幹事国業務及び平成5年度事業計画の進捗等を審議した

第29回ISO/TC17諮問部会

開催日：7月16日

6月上旬にパリで開催したTC17/EC会議結果を報告。会議は8ヵ国14名が参加し13の決議を得て活発かつ友好的であった

標準化委員会

第27回標準化委員会

開催日：7月20日

工業技術院の「平成5年度工業標準化業務計画」のJIS見直し方針。趣旨を汲んで今年度対象の39規格を見直す等基本方針を決定

第9回標準化委員会運営分科会

開催日：7月16日

今年度のJIS見直し作業における規格改正・廃止の基本方針の確認、JIS作成業務手順(案)の審議、同作成マニュアル紹介等

第6回標準化委員会JP3分科会

開催日：7月14日

ISO/TC17/SC12国際会議出席報告、平成5年度に分担するG3311(みかき特殊鋼帯)等4規格の見直し計画の審議

第8回JP7分科会

開催日：7月7日

ISO/TC67/WG2(認証方式)の東京会議
(7/19~21)の受入れ体制と日本の対応につき
審議

第5回JE1分科会

開催日：7月8日

次回TC17/SC20国際会議で議題となる機械
試験用試材および試験片採取位置(1/4巾, 厚か
1/4巾, 厚か)の対応策を協議

第5回JE2分科会

開催日：7月15日

ISO/TC164/SC2及びSC4Pの国際会議出席
報告とJE2分科会各WG活動状況を報告・審議

第8回JP6分科会

開催日：7月16日

H4年度改正JIS9規格の解説(案)の審議とH5
年度改正JIS19規格の改正要望の調査

**鉄鋼標準化センター運営委員会
標準化委員会**
第3回JE4分科会**第50回SC1諮問部会**

開催日：7月15日

規格作成、改正中のISO/WD, CD, DIS計17
件及びJIS2件につき、又来年日本開催のSC1国
際会議方針などを審議

鉄鋼JIS三者委員会
平成5年度第1回鉄鋼JIS三者委員会

開催日：7月23日

本年度の新委員により鋼材JIS見直し受託規
格を確認した後、ISO規格との整合化等審議方
針を明確にし、審議計画を決定した

ブックレビュー
●テクニカル・ライティング—話し言葉で書く科学英語—●

Matt Young著, 小笠原正明訳, 1993年6月

丸善株式会社発行(TEL 03-5684-5571)

四六判 254頁, 定価(税込) 2,266円

書評を書くのは気が重いものだ。特に読んでみてさほど感心しない場合は困ってしまう。素直に感想を述べるとけなすことになる。しかし、これはという本にあたると、すっかり正義の報道官という気分が筆が進む。本書はその類である。

本書の副題—話し言葉で書く科学英語—に騙されてはいけない。自分は大して英語もしゃべれないのだからなどと、卑下する必要は毛頭無い。筆者は、技術論文特有の没個性的な表現や修辞法を避け、簡明な文章を推奨しているのだから。それと同時に、研究者が陥りがちな事大主義や権威主義的な発想を冷ややかな目で批判している。このあたりはバイアスの「悪魔の辞典」を彷彿とさせる。

本書は簡単なガイドのPart I と辞書形式のPart II に分かれている。その一部を紹介しよう。

found to be [...]である]とわかる] この言葉はほとんどの場合不要であることが「見い出されて」いる。

preliminary experiment [予備実験] あまりきちんとやらなかった実験で、その結果に対してあまり自信はないが、それにもかかわらずもう一度くりかえすつもりのない実験のこと。

この例からも想像できるように、読み物としても面白く、内容も高級である。英語の論文を書いたことのある人にお薦めする。

(東京大学工学部 鈴木俊夫)

次号目次案内

鉄と鋼 第79年第11号(11月号)目次
解 説

板材成形加工における数値解析の現状

技術資料

塗料の基礎特性

焼結鉍製造におけるプロセスおよび成品評価の課題

特別講演

蛍光X線分析法によるチタン合金の分析

論 文

鉄の粒界破壊と微量元素および合金元素の効果

荷重および雰囲気加圧下における石炭の中低温乾留

流動層加熱における石炭粒子の凝集

生石灰系フラックスによる含クロム溶銑脱磷試験

RH真空脱ガス装置の装置条件と脱炭反応特性

タンディッシュ内溶鋼の汚染要因の定量化

磁場を印加した連铸鑄型における溶湯波動の挙動

連铸二次冷却中の微細炭化物の析出と鋼の高温脆化

合金化溶融亜鉛めっき鋼板製造プロセスにおける合金化反応と皮膜構造

電子線橋かけ型ポリ塩化ビニル被覆鋼板の塗膜特性に及ぼすモノマー種の影響

高温低サイクル疲労寿命の温度、ひずみ速度依存性に対するパラメータ解析法

パラメータ解析法による各種高温材料の低サイクル疲労寿命評価

ガスタービン燃焼器用材料Hastelloy Xの析出形態、機械的性質に及ぼす長時間時効の影響

アルゴン雰囲気中における高純度クロムの高温クリープ抵抗

仲町 英治

上田 隆宣

葛西 栄輝, 他

小谷 直美, 他

木村 宏

板垣 省三, 他

小島 紀徳, 他

北村 信也, 他

加藤 嘉英, 他

田中 宏幸, 他

李 廷挙, 他

鈴木健一郎, 他

稲垣 淳一, 他

増原 憲一, 他

山口 弘二, 他

小林 一夫, 他

吉岡 洋明, 他

近藤 義宏, 他